

会 議 録

1 会議名

第10回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○ 報告事項

(1)令和7年度浦川原区地域協議会委員研修会の開催結果について

(2)令和8年度地域独自の予算事業の一覧について

○ その他

○ 次回の開催日について

3 開催日時

令和8年2月24日（火）午後6時30分から7時15分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 4階 市民活動室4・5

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：市村(一)委員、市村(千)委員（副会長）、小野委員（副会長）、金子委員
北澤(正)委員（会長）、五井野委員（オンライン出席）、杉田委員、竹内委員、
西山委員、水澤委員
- ・ 事務局：浦川原区総合事務所 坂井所長、山崎次長、長谷川建設グループ長、
廣田産業グループ長、唐澤市民生活・福祉グループ長、
西山教育・文化グループ長、村松地域振興班長、原田主任

8 発言の内容

【山崎次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・出席者は10人で五井野委員がオンラインで出席。欠席委員は松野委員
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告

【北澤会長】

上越市審議会等の会議の公開に関する条例施行規則第5条第2項により、会議録の内容について、地域協議会が指定した委員の確認をいただく事になっている。

本日の会議録の確認について、五井野委員にお願いします。

それでは、「2 報告」に入る。(1)令和7年度浦川原区地域協議会委員研修会の開催結果について事務局より説明をお願いします。

【山崎次長】

資料No.1に沿って説明

【北澤会長】

今ほど事務局より説明があったが、委員の皆さんから委員研修会の意見や感想について伺いたい。竹内委員いかがか。

【竹内委員】

私は介護の仕事をしているので、浦川原区の男性高齢者の医療費や要介護率が低く、元気だという部分に興味を持った。藤山所長も述べられていたが、元気な秘訣について知りたいと感じた。

【北澤会長】

竹内委員が考える浦川原区の男性高齢者が元気な要因は何だと考えるか。

【竹内委員】

デイサービスに来られる利用者のほとんどが女性である。男性は元気だから来ないのではなく、そういった場所に来たがらないという傾向が強いと考えられる。一方で男性は生きがいを持ち、何らかの仕事をしている場合は元気であることが多い。また、配偶者と共に暮らし、畑仕事などの作業や楽しみを持っている人も元気である。

【金子委員】

「こちらは広報うらがわらです」の春日代表の話が興味深かった。「昭和ふえす」というイベントを開催したということだが、私の世代にとっては、昭和時代を懐かしむことができ、また、

若い世代にとっては、初めて見るものもあり新鮮だったと思う。今後、同様のイベントを開催することがあればぜひ協力したい。

【西山委員】

藤山所長より、この浦川原区を維持していくための具体的な数字が示された。その数字を踏まえ、上越市としても地域協議会としても、どのような取組を進めていくかが重要だと感じた。

【杉田委員】

「人と人をつなぐ広場が大切」という話が印象に残った。地域住民を取り巻くネットワークは、人口減少以上のスピードで縮小するということだが、健康で様々な場に参加できる状態を保つことが大切だと感じた。

【市村(一)委員】

趣旨と異なるかもしれないが、昔のような「飲みニケーション」が減ってきていると感じている。以前はそういった場で結婚相手を見つけたものだが、今の若者はそういった場に参加したがない。浦川原区で結婚する人が少ない要因にもなっていると思う。昔の良さを今の時代にも可能な限り取り入れ、住んでいる人が楽しく過ごさなければ、人口増加を目指す意味がなくなってしまう。住民が気軽に集まり、何でも話ができる場を作ることが重要だと考えている。

私は町内会長も務めているが、同じ思いを持っていても、忙しくて動けない人や、動きたくても体力がない人もいる。今回の研修会でたくさんの刺激をいただいたので、できるだけ努力していきたい。

【市村副会長】

浦川原区の男性高齢者のお達者度の話はとても興味深かった。一方で、要介護状態であることを自分で認めたくないという人も多くいると思う。また、医療費が少ない理由についても、病院が苦手な人が多いという点が影響している可能性があり、本当にお達者な人が多いのかどうかは気になるところである。

もう一点は、廃校利用についてである。南海トラフ地震や、首都直下型地震など大きな災害が起きた際、日本海側が受入先になるという話があったが、受け入れる側が元気であり、受入施設が整っていなければ対応できないと感じた。使われなくなった施設は、維持されなくなってくると急速に老朽化する。頻繁でなくても継続的に使うことで、状態を維持できると思うので、そういった使い方も必要であると感じた。

【小野副会長】

今回の研修会には、多くの来場があり、意義のある研修会であったと感じている。浦川原区の高齢者のお達者度が高いという話があったが、私の地元の山本町内会も、山本ぶどう園があ

ることで、生きがいを持ち、気力を維持している住民が多いと感じている。藤山所長の講演の中で、浦川原区地域協議会がその要因を探すことに期待しているとの話があったが、今後その点を考えていきたい。また、人をつなぐ広場の重要性の話があったが、山本ぶどう園の生産者は減少しており、背景にはコミュニティ不足があると考えている。ぶどうを作って売るだけではなく、地域独自の予算事業補助金などを活用し、改善の方向性が見出せばよいと感じた。

【北澤会長】

皆さんからいただいた意見や感想に、私の感じたこともほとんど含まれている。私は前期から地域協議会委員を務めているが、当時から浦川原区のコミュニティが縮小していくことを最も危惧していた。ただ、少子高齢化に関しては、国としても取り組んでいるがなかなか良い状況にならないというのが現状である。そんな中でも、この地域に住む私たち一人一人が、何ができるかを考えることはできる。小さなことでも、行動を起こせば、良い方向に進んでいくことを信じている。

今回の研修会では、浦川原区の将来について、定住人口の目標値が示された。その目標に向けて、地域協議会として何をすべきか、中身の濃い協議を進めていきたい。また、何かを実行する際には予算の問題が伴う。その際は、地域独自の予算事業補助金が活用できるが、提案期限が8月末までということもあるので、頭の中に入れておいていただきたい。

ほかに委員の皆さんから意見等はあるか。

(意見なし)

次に、「令和8年度地域独自の予算事業の一覧について」事務局より説明をお願いする。

【山崎次長】

資料No.2に沿って説明

【北澤会長】

今ほどの説明について、意見や質問等はあるか。

(意見、質問なし)

次に、「3 その他」に移る。次第にはないが、委員報告について、事務局で事前に受け付けているものはないが、ほかに委員の皆さんから何かあるか。

【水澤委員】

委員報告の趣旨とは異なるが、今年は地域独自の予算事業が3件であることに危惧を覚える。かつて、地域活動支援事業として地域協議会が採択を行っていた時には、多くの提案があり、採択作業が大変であった時期もあった。しかし、現在の方式が本当に望ましいのか考える必要があると感じる。今年については予算上やむを得ない面もあるが、地域に活力を与えるという

観点で考えると、現行の方式は行政主導の色合いが強いと感じる。先ほどのコミュニティの話にも関係するが、改変した地域独自の予算事業では、住民の力が十分に発揮できていない。そのことがコミュニティの衰退や各種団体の弱体化につながっていると考え問題視している。例えば、今月末に開催される「灯の回廊」のゆあみ会場では、当初6人程度の有志で作業を行っていた。私は、いつまでも同じ人がリーダーでいることは望ましくないと考え、後継者育成の観点から組織運営を行ってきた。しかし現状の会員は4人であり、この人数では対応が難しいため、上越信用金庫さんの協力を得ながら継続している。このようにコミュニティ同志がつながることが重要で、定住人口の確保と同時に、イベント等を通じて関係人口を増やすことが大切である。やる気のある人は多くいると思うので、そういった人たちが活用しやすい制度にしていきたい。また、地域協議会としても、こうした課題を深掘りし、意見書を提出することも一つであると思う。

【北澤会長】

地域独自の予算事業についてだが、水澤委員が述べたとおり、この予算を活用して何かを続けようという団体や組織が減少していることは大きな問題である。現在、地域自治推進プロジェクトが進行しており、具体的な話はまだないが、今後は良い方向に向かっていくことを期待している。今後、話が具体的になった際には、その内容を深掘りしながら意見書を提出することも一つの方向性であると考え。そのためにも、委員の皆さんと協議を重ねていきたい。

ほかに意見等はあるか。

(意見なし)

事務局から報告事項はあるか。

【山崎次長】

- ・地域協議会だよりの発行方法についての報告

【北澤会長】

次に「4 次回の開催日について」である。第11回地域協議会の日程についてだが、案として3月19日(木)を提案する。また、年度末ということで、地域協議会終了後に懇親会の開催も予定している。あわせて、地域協議会の開始時間については、通常より30分早い午後6時からとしたいと考えている。日程および懇親会の開催について案のとおりでよいか。

(会場から「はい」の声)

それでは、第11回浦川原区地域協議会は3月19日木曜日の午後6時からとし、会議終了後に懇親会を開催する。

以上で、第10回浦川原区地域協議会を閉会する。

9 問い合わせ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別途の会議資料もあわせてご覧ください。